

チリカブリダニ・ミヤコカブリダニ剤

有効成分：チリカブリダニ 400頭/250mL
ミヤコカブリダニ 1,600頭/250mL

その他の成分：鋳物質

性状：淡褐色細粒

包装：250mL ポリエチレンボトル

適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数
野菜類 (施設栽培)	ハダニ類	250mL/10a <small>チリカブリダニとして400頭 ミヤコカブリダニとして1,600頭</small>	発生初期	-

使用方法	チリカブリダニを含む 農薬の総使用回数	ミヤコカブリダニを含む 農薬の総使用回数
放飼	-	-

最終有効年月

入手後直ちに使用すること

貯蔵上の注意事項

- 本剤は天敵生物であり、生存日数が短いので、入手後直ちに使用し、保存しないこと。

販売

株式会社アグリセクト
茨城県稲敷市沼田2629-1

天敵

農林水産省登録第24466号

ミッチトップ

Michi-

チリカブリダニ・ミヤコカブリダニ剤

Top

使用上の注意事項

- 本剤はハダニ類を捕食する天敵チリカブリダニとミヤコカブリダニを含有する製剤である。
- チリカブリダニおよびミヤコカブリダニの生存日数は短いので、入手後直ちに使用し、使い切ること。
- 容器中でチリカブリダニとミヤコカブリダニが偏在していることがあるので、使用の際には容器を横にしてゆっくりと回転させた後、ハダニ類が発生している葉上に容器から少量に分けて放飼すること。
- ハダニ類の生息密度が高くなってからの放飼では十分な効果が得られないことがあるので、ハダニ類がまだ低密度で散見された時点で最初の放飼をすること。なお、ハダニ類の発生は均一ではないので、ハダニ類の密度の高い場所へ重点的に放飼することが望ましい。
- 天敵としてチリカブリダニとミヤコカブリダニが有効な密度を保つため、ハダニ類の発生初期より約1週間間隔で数回放飼することが望ましい。
- 本剤の使用中は、日中の施設内の平均室温を17～30℃に保つことが望ましい。
- チリカブリダニとミヤコカブリダニの活動に影響を及ぼすおそれがあるので、本剤の放飼前後の薬剤散布はさけること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 容器、空袋等は圃場などに放置せず、環境に影響のないように適切に処理すること。

チリカブリダニ製造場

株式会社アグリ総研 茨城県稲敷市沼田2629-1
バイオベストN.V. ウェスターロ工場
ベルギー王国 イスルヴェルデン 18 2260
アプラインバイオノミクス ビクトリア工場
カナダ ブリティッシュコロンビア州北サーニッチ
西サーニッチ通り1174
バイオロジカルサービス パース工場
オーストラリア西オーストラリア州 ムチエア
ペインストリート126

ミヤコカブリダニ製造場

株式会社アグリ総研 茨城県稲敷市沼田2629-1
バイオベストN.V. ウェスターロ工場
ベルギー王国 イスルヴェルデン 18 2260
アソシエイト インセクタリ カルフォルニア工場
アメリカ合衆国 カルフォルニア州
サンタポーラ通り1400



4 562297 520945